

皮膚科



診療科長
十一 英子

専門医資格等 日本皮膚科学会皮膚科専門医
京都大学医学博士
京都大学医学部臨床教授
京都皮膚科医会理事

専門分野 皮膚科一般
皮膚免疫

得意疾患 乾癬
糖尿病足病変

□ スタッフ

平成29年10月1日時点

| | 氏名 | 専門医資格等 | 専門分野 | 得意疾患 |
|----|-------|---------------|-------|------|
| 医師 | 岡本奈都子 | 日本皮膚科学会皮膚科専門医 | 皮膚科一般 | |
| 医師 | 渋谷真美 | 日本皮膚科学会皮膚科専門医 | 皮膚科一般 | |
| 医師 | 猪上奈奈 | | 皮膚科一般 | |

□ 診療科の特徴

| | |
|-------|--------------------------------|
| 施設認定等 | 日本皮膚科学会専門医研修施設 生物学的製剤使用承認施設 |
|-------|--------------------------------|

1. 乾癬と慢性蕁麻疹に対して生物学的製剤による治療を行っています。
2. 糖尿病、悪性腫瘍など基礎疾患を持つ蜂窩織炎、带状疱疹などの感染症や難治性潰瘍など、総合病院の特色を生かして他科と密に連携して治療しています。
3. 地域の他病院から紹介された診断困難な症例、難治例、重症例なども多く受け入れています。

□ 主な対象疾患

尋常性乾癬、乾癬性関節炎、掌蹠膿疱症、アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、うつ滞性皮膚炎、蕁麻疹、薬疹、水疱症、細菌感染症（ざ瘡、蜂窩織炎、丹毒、伝染性膿痂疹、など）、
ウイルス感染症（带状疱疹、単純疱疹、カポジ水痘様発疹症、尋常性疣贅など）、
真菌感染症（足白癬、股部白癬、爪白癬、カンジダ症など）、
皮膚潰瘍、皮膚腫瘍など

□ 診療（業務）内容

乾癬：治療が急速に進歩し、難治の皮疹や関節炎のため生物学的製剤の治療を受ける患者さんが増えており、スクリーニング検査を行い適応を決め、投与しています。
掌蹠膿疱症：病巣感染などの原因検索を行って治療しています。
蕁麻疹：抗アレルギー剤内服で効果不十分な場合、生物学的製剤の注射を行っています。
糖尿病に合併する皮膚疾患：糖尿病と関連した難治性足潰瘍や皮膚病変を、糖尿病科、形成外科、血管外科、整形外科、循環器科などと連携して診療しています。
带状疱疹（ヘルペス）：重症度に応じて、抗ウイルス剤の内服、或いは入院で点滴治療を行っています。
爪白癬：難治な爪の水虫には抗真菌剤の内服治療を行っています。
接触皮膚炎：かぶれの原因検索に、パッチテストを行っています。
薬疹：重症薬疹は入院で治療しています。
水疱症：天疱瘡の中等症以上では血漿交換療法や免疫グロブリン大量療法を行っています。
診断・治療のために積極的に皮膚生検を行っています。

診療実績 (平成29年度)

入院患者数

| 1日平均患者数 | 新入院患者数 | 平均在院日数 |
|---------|--------|--------|
| 5.0名 | 96名 | 19.1日 |

外来患者数

| 1日平均患者数 |
|---------|
| 78名 |

主な手術・検査の件数など

| 皮膚生検 | 皮膚切開術 | 皮膚皮下腫瘍摘出術 |
|------|-------|-----------|
| 245件 | 49件 | 57件 |

学術活動報告 (学会・研究発表など)

| 演題・演者・学会名 |
|---|
| 環状紅斑から胸腺腫が見つかった1例 小亀敏明, 渋谷真美, 岡本奈都子, 十一英子 第450回 日本皮膚科学会京滋地方会 2017/6/10 京都 |
| 自覚症状のない腹部の皮下硬結で受診した、皮膚クリプトコッカス症の1例 渋谷真美, 猪上奈奈, 岡本奈都子, 十一英子 第453回 日本皮膚科学会京滋地方会 2017/12/23 京都 |
| 抗凝固療法で改善した足部重症虚血の1例 猪上奈奈, 渋谷真美, 岡本奈都子, 河原崎知, 浅田秀典, 十一英子 第454回 日本皮膚科学会京滋地方会 2018/3/3 京都 |
| 今こそ考える乾癬Bio治療の意義 —ステララの開発から使用時の心得まで— 十一英子 Web講演 Biologics Users Web Conference 2017/4/14 |
| ますますひろがる乾癬治療の選択肢 十一英子 講演 第5回南京都皮膚疾患セミナー 2017/5/13 京都 |
| 今考えるウステキヌマブの価値とは?~Phase1から携わった知見から~ 十一英子 講演 Psoriasis Up to Date Seminar in Osaka 2017/5/27 大阪 |
| 糖尿病と皮膚疾患 —足病変を中心に— 十一英子 講演 伏見医師会ランチョンセミナー 2017/6/16 京都 |
| 今こそ考える乾癬Bio治療意義 —ステララの開発から使用時の心得、今後の展望まで— 十一英子 講演 Nagoya Psoriasis Seminar 2017/6/29 名古屋 |
| 乾癬Bio治療のもたらしたもの —ステララの開発から実際の診療の留意点まで— 十一英子 講演 第81回日本皮膚科学会東部支部学術大会ランチョンセミナー 2017/9/24 福島 |
| 乾癬Bio治療の意義を考える —ステララの開発から使用時の留意点、今後の展望まで— 十一英子 講演 北陸乾癬フォーラム 2017/12/10 金沢 |
| 乾癬におけるIL-17阻害薬の有用性と臨床上の留意点 十一英子 講演 皮膚疾患フォーラムin京都 2017/12/16 京都 |

投稿論文など

| 著者・タイトル・著書・雑誌名 |
|---|
| 十一英子, 徳永茉以, 渋谷真美, 岡本奈都子 乾癬の生物学的製剤投与前における悪性腫瘍スクリーニング検査の重要性. 皮膚科の臨床 59(4):439-442, 2017 |
| 渋谷真美, 徳永茉以, 岡本奈都子, 十一英子 踵骨裂離骨折を契機に増悪した右踵部潰瘍の1例. 皮膚科の臨床 59(4):463-467, 2017 |